

FAQ (ビジョナリーリサーチ助成)

【応募について】

1.	Q :	同一年度複数の応募は可能ですか？(医学系研究奨励とビジョナリーリサーチ助成など)
	A :	<u>全ての助成プログラムを通して、同一年度1研究者1件</u> としております。
2.	Q :	昨年度、ビジョナリーリサーチ助成に採択されました。本年度、別の研究テーマにて応募することは出来ますか。
	A :	ビジョナリーリサーチ助成の助成期間中はビジョナリーリサーチ助成(スタート)への再応募はご遠慮ください。
3.	Q :	昨年度に研究助成贈呈対象となった研究者が所属する科から、別の研究者が本年度に応募することは可能ですか？
	A :	贈呈対象となった研究および類似のテーマでの応募は遠慮ください。 <u>昨年の贈呈対象研究と異なった研究内容・テーマについては応募できます。</u>
4.	Q :	現在留学中ですが、 <u>海外からの応募</u> はできますか？
	A :	ご遠慮ください。但し、本年度中に日本に帰国し国内で研究されるケース等、ご応募いただける場合もありますので当財団事務局に相談ください。
5.	Q :	<u>非常勤講師ですが、応募は可能ですか？</u>
	A :	<u>ご所属先にご在籍であること、採択された場合に助成金・奨励金を受け入れる仕組みがご所属機関にあることをいずれも満たしていましたら、応募は可能です。</u>
6.	Q :	歯学部にも所属しています。個人としてどのプログラムに応募可能ですか？
	A :	生命科学研究助成、医学系研究奨励、ビジョナリーリサーチ助成のいずれかへの応募が可能です。

【記載内容等について】

1.	Q :	所属の記載は大学院医学系研究科で良いですか？
	A :	大学院医学研究科代謝内科学、消化器外科学など詳細に記載ください。
2.	Q :	研究要旨の記載は2ページ以内となっていますが、3ページになっても良いですか。
	A :	2ページ以内でご記載ください。
3.	Q :	研究要旨に図表を入れても良いでしょうか？
	A :	必要であれば挿入していただいて結構です。

【電子申請について】

1.	Q :	Eメールで申請することはできますか？
	A :	できません。電子申請にて申請してください。
2.	Q :	応募締切は3月15日の何時までですか？
	A :	3月15日24時まで受け付けます。

【助成金について】

1.	Q :	所属機関では10%の間接経費(いわゆるオーバーヘッド)を徴収されます。助成金を個人で受け取れませんか？
	A :	ご所属機関に受入れルールがある先は全て施設での受入れとなります。
2.	Q :	間接経費の免除に関する依頼の書類を財団から出してもらえますか？
	A :	理事長名で免除の依頼文書を出すことは可能です。ただし、当財団からの間接経費免除のお願いに関するご判断はご所属機関により異なります。ご所属機関のルールをご確認ください。
3.	Q :	現在、大学病院に所属して海外へ留学中です。収支報告に海外での研究費用が含まれてもいいですか？
	A :	海外での研究費用も含み 研究費の用途は自由 です。ただし、 採択研究に直接関係のある費用であること、所属先機関のルールに則っていることが条件 です。
4.	Q :	他大学に転出することになりましたが、助成金を移すことは可能ですか？
	A :	現在ご在籍の大学のルールに従ってご対応ください。移された場合は当財団にご報告願います。
5.	Q :	採択された場合、2019年5月末までに使用を完了する必要がありますか？
	A :	2019年5月末までに使い切る必要はありません。 財団では、 使用期限は特に定めておりません 。ただし、研究成果(または経過)報告ならびに収支報告書の提出期限を設けております。残金がある場合も提出期限までの収支状況を中間報告としてご提出ください。残金が0円となった時点で、最終の収支報告書をご提出願います。
6.	Q :	助成金を人件費に使用することは可能でしょうか？
	A :	財団では 用途を特に制限しておりません 。 対象研究に限ってのご使用であること、ならびに施設のルールに則って使用いただくこと としております。
7.	Q :	助成金はいつから使用できますか？
	A :	納付次第使用できます。

【報告について】

1.	Q :	研究助成に採択された場合は2019年5月までに研究経過または研究成果と収支報告を提出するとのことですが、規定の様式はありますか？
	A :	様式は特に定めておりません。A4用紙2～3ページでとりまとめていただければ結構です。成果を論文として発表された場合は、別刷またはPDFをお送りください。報告書の代替といたします。 収支報告書につきましては、ご所属機関の収支簿（受払簿、予算差引簿等）の写しをご提出ください。提出期限の時点で残金がある場合は、中間報告として研究経過報告書ならびに収支報告をご提出ください。残金が0円となった時点で最終の報告をお願いいたします。
2.	Q :	報告書は公表されますか？
	A :	公表論文以外を公表することはありません。

【その他】

1.	Q :	採択後に所属変更した場合、どのようにお知らせすれば良いですか？
	A :	採択年度・採択プログラム名・新しいご所属名、連絡先等を当方までお知らせください。 (メールアドレス： info@takeda-sci.or.jp)

以上